

数え100歳 百寿のお祝い

満99歳を迎えた畠山こうめさん（◎泊浜）に、2月27日（月）、町から百寿のお祝い金などが贈られました。



畠山さんは、歌津生まれの歌津育ちで、公立志津川病院で東日本大震災に被災し、現在は石巻市内の病院に転院しています。とても元気で若々しく、会話ははっきりしていて「長生きの秘訣は？」と聞かれると、「若いころからの海仕事」と笑顔で話してくれました。これからも、ますます元気に過ごしてください。

趣味は海仕事です。

志津川福興名店街オープン



関係者によるテープカット

2月25日（土）、志津川御前下地区に仮設商店街「志津川福興名店街」がオープンしました。朝から雪にも関わらず、大勢の買い物客が訪れ、午前10時のオープニングセレモニーにより地元商店街の復活を祝いました。

名店街の場所は、南三陸合同庁舎や消防署があった付近で、飲食店や食料品店を中心に30店舗が営業しています。名店街の中央には大型テントが配置され、オープンスペースとして自由に使えるなど、交流の場として期待されています。

お昼時は、なつかしい味を求めて、軒を連ねる食堂に行列ができるなど大盛況となりました。

ひと足先にオープンしている歌津伊里前地区の「伊里前福幸商店街」ともども、みんなで地元商店街を盛り上げて行きましょう。

台湾の子どもたちが 南三陸を応援

3月1日（木）、志津川小学校体育館において、台湾の泰武（タイウー）小学校児童17名と志津川小学校児童（全校）291人による交流会が開催されました。

今回、台湾赤十字組織が、「海外救援金」の対象事業地である当町を視察訪問することに合わせて、「日本の子どもたちを応援したい」という思いから、児童の来日が実現したものです。

交流会では、泰武（タイウー）小学校児童が、台湾先住民族のひとつである排湾（パイワン）族に伝わる民謡を披露し、東洋の魅力あふれる歌や演奏に癒（いや）され、最後は、参加者全員で輪になって踊るなど、楽しいひと時を過ごしました。



子どもスマイルミュージカル ～明けない夜はないから～

2月26日（日）、ベイサイドアリーナを会場に「子どもスマイルミュージカル～明けない夜はないから～」が開催されました。

未来を担う子どもたちが、ステージにあがり、大きな声を出して楽しみながら、一生の思い出に残るよう、仙台市で「アトリエ自遊楽校」を主宰する新田新一郎さんの監修のもと、プロの役者の方々と一緒に、ジュニア・リーダー「MVCぶらんこ」と町内の児童生徒が歌や演技の練習を重ね実現したものです。

震災に負けず、一生懸命がんばる子どもたちに、会場からは大きな拍手が贈られました。



初のベスト8進出

3月4日（日）、東京都駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で「2012全日本綱引選手権大会」が開催されました。女子の部では宮城レッツが惜しくも予選敗退したものの、男子の部に出場した南三陸連合が、練習環境が整わない中、逆境に負けず見事に初の決勝トーナメントに進出し、ベスト8に輝きました。

- （競技種目）
- 男子の部 600kg（ライトミドル級）
南三陸連合 代表 菅原 正之（◎篝畑）
- 女子の部 500kg（ライトフェザー級）
宮城レッツ 代表 阿部 里子（◎岩沢）



選手宣誓「南三陸連合」佐藤浩之さん（◎折立）

震災川柳で苦境を笑い飛ばそう！

2月18日（土）、旭ヶ丘コミュニティセンターにおいて、200ほどの川柳を集めた「震災川柳」のお披露目と贈呈式が行われました。

旭ヶ丘地区行政区長の柴田正廣さんの発案で、避難所となっていたセンターを会場に4月から川柳大会が始まり7月まで続けたもので、応急仮設住宅が完成し避難所から移転する方々が多くなったためやむなく散会することとなりましたが、8月に東北大学臨床心理学研究の学生たちが避難所を訪ねてきた時、川柳の持つ力に注目し、集めて本にすることを決めたのだそうです。震災川柳は、町の図書館等に無料配布されているので、ご覧になってはいかがでしょうか。

